

# 読書のすすめ



土岐市図書館 ☎1253



## 渋沢栄一

渋沢栄一といえば、今年の大河ドラマの主役であり、三年後には新一万円札の顔になることが決まっています。また、渋沢が説いた経済道徳や経済倫理は、先の見えない混沌の時代のヒントとして近年注目を集めています。

伊藤砂務『渋沢栄一 明治時代に日本経済の基礎をつくった男』。渋沢栄一に興味があるが、伝記本を一冊読むのは難しい、という方には児童向けの伝記まんがもおすすめです。渋沢栄一の特に有名な思想や理念から、重要なエピソードや人物ネットワーク、略年表、コラムなど、一冊で要点を抑えることができます。

安藤優一郎『徳川慶喜と渋沢栄一 最後の将軍に仕えた最後の幕臣』。渋沢栄一には、徳川慶喜の家臣だった時代がありました。しかし渋沢は大政奉還後、請われて明治政府に出仕し、その後の日本経済を牽引することになります。そんな渋沢が慶喜の伝記を編纂したのはなぜか。二人の人生を追う一冊です。

島田昌和『渋沢栄一 社会企業家の先駆者』。農民の子から幕臣、その後明治実業界のリーダーとなり、政治、社会、公共事業を通じて国づくりに取り組むまで、渋沢栄一の社会活動、経済活動の全容とその動機にせまる一冊。渋沢の行動力はどこから来るのか。それを支えたものは何だったのでしょうか。

## 私の一冊



筒井 頼子／作 林 明子／絵

### はじめてのおつかい

図書館ボランティア  
三浦 美由紀さん

### 私の一冊 寄稿者募集

あなたのオススメの一冊を紹介しませんか。

お気軽にお問い合わせください。

私は、『はじめてのおつかい』をご紹介します。この絵本は、土岐市図書館でも「二十五才の絵本」コーナーの一冊として、長年読み継がれている絵本です。私は幼少期、この絵本が一番好きで、毎日母に読んでもらっていた記憶があります。私にとって、母との温かい思い出がたくさん詰まっている絵本です。

主人公のみいちゃんは、五才。家には赤ちゃんがいる、ママはとっても大忙し。そこで、みいちゃんにおつかいを頼みます。でもみいちゃんは、今まで一度も一人で出掛けたことがありません。さあ、みいちゃんの『はじめてのおつかい』という名の大冒険が始まります。

挿し絵も素晴らしく、はらはらドキドキのみいちゃんの心情が、読んでいるこちらにも伝わりまです。皆さんも親子で読んでみてくださいね。



## 4月の休館日

■休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
				1	2	3	火～金曜日 午前10時～午後7時
4	5	6	7	8	9	10	土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時
11	12	13	14	15	16	17	※変更があった場合は、 図書館のHPやTwitter でお知らせします。
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		

## お知らせ

安心して図書館をご利用いただくため、「図書除菌機」を2台導入しました。一度に6冊まで除菌でき、所要時間は約30秒です。セルフでのご利用をお願いしています。ぜひご利用ください。

